

12月24日女子バレー部の県新人大会東播地区予選を応援に行きました。すでに棄権したチームもある中、本校チームは元



気に出場しました。1回戦は北条高校との対戦で、本校は最初から流れに乗り、完勝。2回戦は苦戦が予想された西脇高校との対戦。前半から本校にミスはないのですが、決めるところを決められ、0-2の完敗。2人のアタッカーを中心としたレベルの高い攻撃にリズムをつかめなかった感じでした。翌日は敗者戦による県大会

出場をかけた戦いとなり、気合いのこもった試合を展開し、県大会出場を決めることができました。見ている感じではレシーブもよく頑張っており、試合はうまく進めることができそうなので、後はゲームの流れを掴むことと、声をしっかりと出し合って楽しむことだと思いました。県大会での活躍を期待したいと思います。一方の男子は、危なげなく優勝。県大会に向けての仕上がりに期待です。

男女のバスケット部も県新人大会予選に臨み、男子は残念ながら惜しいところで初戦敗退でしたが、女子は念願の優勝。力強く戦ったようです。おめでとうございます。この勢いで県大会も躍進を続けてください。

私は25日から27日まで高橋幸治先生が県委員長を務めるバドミントンの近畿大会(全国選抜大会予選)に部長として行ってきました。県大会個人準優勝以上、団体優勝チームしか参加できず、本校は残念ながら出場できなかったのですが、バドミントンのレベルを見るにはとても良い勉強になった大会でした。私学が多く、公立はなかなか厳しいのが現状ですが、実際男子の試合などは県優勝を続ける村野工業高校もベスト4には入れない厳しいもので、このレベルに来るには大変な努力が必要だと思いました。試合を見ていると自分たちの持ち味を出そうと練習してきている様子が見えたりするような試合で、勝ち上がる選手たちは考えた練習をしているし、そういった環境に身を置いていることが試合を見ていて分かりました。補助役員として参加していた本校の生徒たちも何かを感じ取ってくれたと思いますので、今後期待したいと思います。

12月24日の神戸新聞北播版には本校生活科学科の取材記事が掲載されていました。「社高生受賞ラッシュ」と生活科学科における各種表彰を取り上げていただきました。地方創生班の取組を表彰と新聞記事での掲載で紹介していただけの事は本当にありがたいことです。



また、すでに終了しているのですが、私が出張中に見ることができなかった2年普通科総合的な探究の時間の発表会が12月16日教育研修所さくらホールで行われ、今年も大手企業メーカーからのミッションを各班に分かれて探究活動を行い、各メーカーから1つ代表を選びその発表を行い、最優秀と優秀賞を「教育と探求社、イオンリテール」の審査員の方々に審査していただきました。写真左から最優秀の富士通を担当した2年6組富岳班、優秀賞の博報堂を担当した

2年3組「5! GO! FIVE!」班と大和ハウスを担当した2年7組チーム野崎班です。それぞれ



「10代のわがままで社会を変革する富士通の新サービスを提案せよ!」「自分も、世界も、豊かにする「校則」を提案せよ!」「大切なものがめぐりめぐる社会をつくる大和ハウスの次のアクションを提案せよ!」というテーマで、各社から指導をいただきながら調べ、考えた内容で自分たちに合うようにプレゼンしたようです。3年生が昨年度及び今年度取り組んだプレゼン内容から推薦入試の面接や小論文を考え、成果を上げてきていることを考えるとこのような探究学習がきっかけで多くのことを考える、将来を考える事に繋がっているように思います。是非、今の2年生もそういった進路実現に活かせるようさらに磨きをかけていって欲しいと思いました(報告が遅くなり申し訳ありませんでした)。

そしていよいよ年が変わりました。2023年の良いスタートを切ることができるよう冬季休業充実させてください。